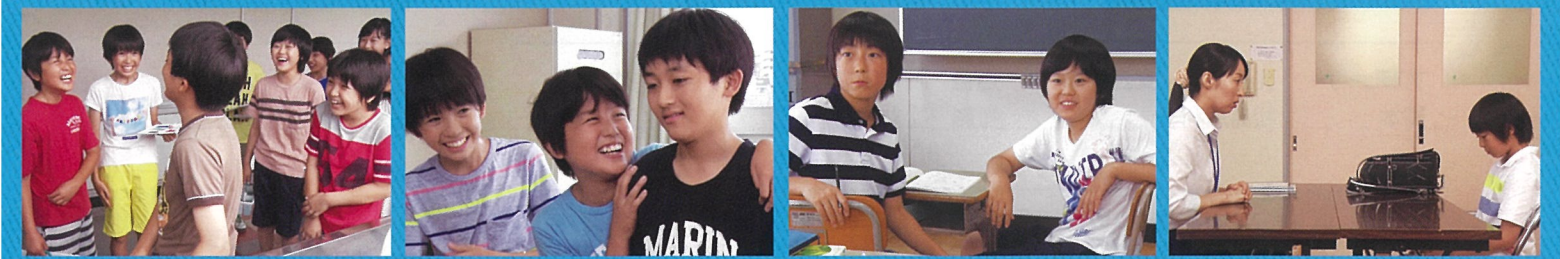




# いじめ 心の声に気づく力



上映時間19分 字幕版付き

DVD 66,000円(本体価格) [C#0118]

指導の手引書・ワークシート付き



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17

<http://www.toei.co.jp/edu/>

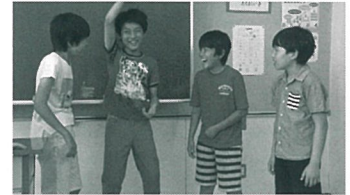
## 企画意図

小学校中・高学年向けの、いじめ防止教材ドラマです。一見、ふざけ合いや遊びに見える行為も、相手が苦痛を感じていれば、それはいじめです。本作品では、子供たちがドラマに登場するいじめの被害者・加害者・傍観者の立場に自分を置き換えて視聴することで、いじめ行為を受けたクラスメイトの本当の気持ちに気づく力を養い、いじめの傍観者にならず、解決のために何か行動しようとする意識を持つことをねらいとしています。

小学校では平成30年度から「特別の教科 道徳」が始まり、「考え、議論する道徳」の授業が求められています。いじめ防止のために、子供たちが考え、議論するための教材としても、本作品を活用いただければと思います。

## 内容

小学6年生のつばさと翔平が登校すると、教室には賑やかな笑い声が響いていた。涼太たちのグループが、矢継ぎ早に動物の名前を言い、拓海がその動物のモノマネをしていたのだ。その様子を見て、笑い転げる涼太たち。つばさと翔平も笑っている。



拓海にだったら何をしてもいいという雰囲気ができつつある中で、涼太たちによる拓海への「からかい」行為が徐々にエスカレートしていく。ある日、ドッジボールでボールに当たった拓海に後ろから抱きつき、くすぐる涼太たち。つばさもそれに加わってしまう。

つばさの行為をとがめる翔平。「みんなもウケてたし、別にいいんじゃない」と言うつばさ。次の日の朝、翔平は拓海に話しかけようとするが、涼太たちが来るのを見て、何も言えなくなる。



教室で涼太は拓海の筆箱を取り出し、「ドッキリ」と言って、扉の隙間にしかけ拓海を待ち構える。悪だくみは成功。大笑いする生徒もいれば、無関心な生徒もいる中、やられた拓海は無理して笑顔を作っている。

その日の下校時、翔平はつばさに「拓海がかわいそうだよ。それを笑って見てるなんて最低」と非難する。「言いたいことがあるなら、あの時みんなの前で言えばよかったのに。俺にばかり言うのずるいよ」と言い返すつばさ。気まずい雰囲気になり、翔平は先に帰ってしまう。



つばさは家に帰ってからも、翔平の言ったことが気になり、兄に学校で起こっていることを相談する。「遊びだ、いじりだって言うのは、やってる側の言い分で、本人が嫌だと思えば、それはいじめなんだ」と兄はつばさに諭す。その時、翔平は勇気を出して、担任の先生に相談していた…。

プロデューサー 光田雅樹／安西志麻  
脚本 松島恵利子

監督 岡本博文  
撮影 松丸武彦

制作協力 株式会社オフィス・シマ  
企画・製作 東映株式会社 教育映像部

予告編配信!

<http://www.toei.co.jp/edu/>

教育映像

検索

2018年作品 s.

関東営業推進室 東京都中央区銀座3-2-17 〒104-8108 ☎03-3535-3631  
関西営業推進室 大阪市北区梅田1-12-6 〒530-0001 ☎06-6345-9026  
広島出張所 広島市中区橋本町5-2 〒730-0015 ☎082-511-2066  
福岡出張所 福岡市博多区中洲4-3-18 〒810-0801 ☎092-262-3101

●お買い上げは……